

【みどり市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

本市では、第2次みどり市総合計画において「児童生徒が充実した学校生活を送ることができる」ことを、学校教育における目指す姿としている。

また、第3次教育大綱や教育行政方針において、ICTを活用した授業改善や教職員の資質向上に努めるとしている。

ICT機器を有効活用した「授業改善による児童生徒の学力の向上」と「計画的な研修や実践の共有による教職員の資質向上」により、「児童生徒が充実した学校生活を送ることができる」ことが、本市の目指す学びの姿である。

2. GIGA第1期の総括

文部科学省の掲げるGIGAスクール構想を受け、本市では、令和2年度に市立小中学校12校の児童生徒に対し、1人1台端末計4,009台の整備を完了するとともに、高速通信ネットワークや無線LAN環境の構築を行い、コロナ禍においても子どもたちの学びを止めないためのICT基盤を整備した。

令和4年度には市内小学校1校が、群馬県教育委員会による「ICT活用促進プロジェクト」のモデル校となり、1人1台端末と電子黒板を活用した公開授業を行った。

また、市立学校の教職員で構成する授業改善班では、ICTを活用した個別最適な学びと協同的な学びの一体的な充実に向けた授業改善に取り組み、その成果を発表し学校間で共有した。

授業での1人1台端末の効果をより一層上げるため、令和5年度と令和6年度の2年間で全普通教室及び特別支援学級に電子黒板を整備し、GIGA第2期にわたり活用できる体制を整えた。

3. 1人1台端末の利活用方策

GIGA第1期でのICT環境整備や利活用促進により、1人1台端末は、児童生徒にとって日常的に必要なツールとなった。令和7年度には1人1台端末を更新し、児童生徒の学びを止めない環境整備を進めていく。

また、学習履歴データやデジタル学習教材を活用した個別最適な学びと、各種アプリケーションを使った意見共有や比較検討などによる協働的な学びを推進することで、1人1台端末を活用した主体的・対話的で深い学びを実践していく。

さらに、専門業者によるICT支援業務を継続し教職員の資質を高めるとともに、1人1台端末の家庭への持ち帰りを継続し、家庭学習や保護者との連携を強化する。